



旧園六織物のノコギリ屋根工場

旧園六織物のノコギリ屋根工場は、昭和5年に建設された。昭和60年まで織物製造業として稼働し、主にマフラーやスカーフなど輸出向けの織物を生産していた。その製品は、中国や中近東を中心に輸出され、桐生が誇る織物技術を世界に発信した。

現在は、倉庫として使用されているが、所有者の丁寧な管理が行き届き、廃業してから20年以上経った今でも、工場からは当時の機織の音が聞こえてきそうである。

黒色の外壁とトタン葺き屋根の建物が、自然豊かな川内町の緑の中で、その存在感を一段と際立たせている。

桐生織の歴史とそこに刻まれた人々の汗を感じる原風景である。



所在地 桐生市川内町2-308
電話番号 0277-65-8393
所有者 園田 力 氏